

送水車(代替海水ポンプ)設置訓練を実施しました

当発電所は、2月2日、冬季特有の厳しい気象条件下における送水車※¹(代替海水ポンプ)設置訓練を実施しました。

今回の訓練は、当発電所の運転中に地震が発生し、原子炉が自動停止した後、全ての交流電源および原子炉を冷却する機能が失われたとの想定で行いました。

当日は、発電所敷地内の海拔約23m地点に配備している送水車を海拔約4m地点の港湾部へ移動させて、海水を汲み上げるホースを送水車へ接続する訓練や、送水車から海水熱交換器建屋※²までをつなぐ延長ホースの敷設訓練などを行いました。

- ※¹ 原子炉等を冷却するために必要な海水系ポンプが使用不能になった場合に、それに替わる可搬式ポンプを搭載した車両。
※² 原子炉建屋やタービン建屋にある機器を冷却するための海水ポンプや熱交換器が収容されている建屋。



海水を汲み上げるホースを送水車へ接続する様子



送水車と延長ホースを接続する様子



海水熱交換器建屋までホースを延長する様子

緊急被ばく医療訓練を実施しました

当発電所は、1月20日、東通村診療所※¹と締結している「傷病者の診療に関する覚書」に基づき、緊急被ばく医療訓練を実施しました。

当日は、発電所内において放射性物質が付着した傷病者が発生したとの想定のもと、発電所内「除染室」での除染および応急処置、救急車内の養生※²、東通村診療所への搬送および医療処置などの手順について確認を行いました。

- ※¹ 同診療所は、青森県より「原子力災害医療協力機関」として登録されています。
※² 救急車内への放射性物質の付着を防止するため、車内をビニールシートで覆うこと。



「除染室」での除染や応急処置の様子



傷病者を救急車で搬送する様子



東通村診療所での医療処置の様子

今後もさまざまな訓練を繰り返し、緊急時の対応力向上に努めてまいります。

東通中学校において「ヒップホップダンス教室」を開催しました

当発電所は、2月5日、東通中学校1年生および2年生の生徒約120名を対象に「ヒップホップダンス教室」を開催しました。

当日は、ダンスインストラクターの小野郁子さんを講師にお招きし、基本のリズム動作でしっかりと体をほぐした後、曲に合わせて振り付けを繰り返し練習しました。

最後はクラス単位で覚えたてのダンスを披露し、生徒からは「リズムに乗りながら楽しく踊ることができました。貴重な体験をありがとうございました」などの感想が寄せられました。

当発電所では、今後も地域の未来を担う子どもたちの健やかな成長を応援してまいります。



振り付けをする小野郁子さん



全体練習の様子



クラス単位でダンスを披露

八戸工業大学の学生を対象に講義を行いました

当発電所は、1月18日、八戸工業大学からの依頼に基づき、同大学において学生約120名を対象に原子力に関する講義を行いました。

この講義は、同大学における原子力エネルギーや放射線について履修する「原子力工学コース」の一環として行われたものです。

当日は、当発電所の小笠原和徳副所長が講師となり、日本のエネルギー事情や原子力発電の仕組み、放射線の基礎などについて講義を行い、原子力に関する理解を深めていただきました。



講義をする小笠原副所長



講義の様子